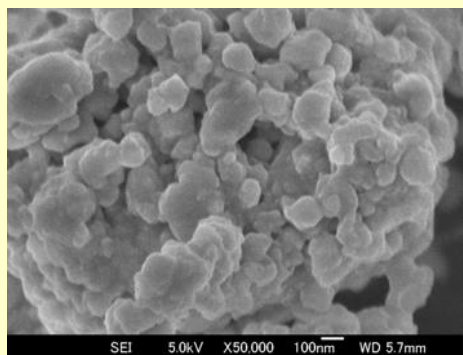


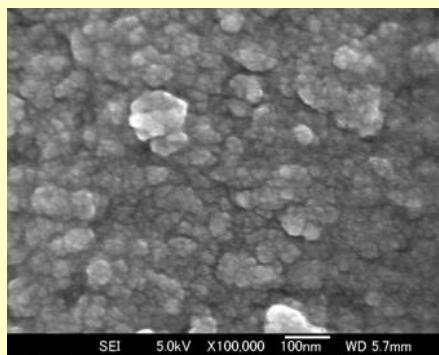
多孔質粒子及び表面コート粒子の紹介

当社の新製法で作製した多孔質粒子の紹介

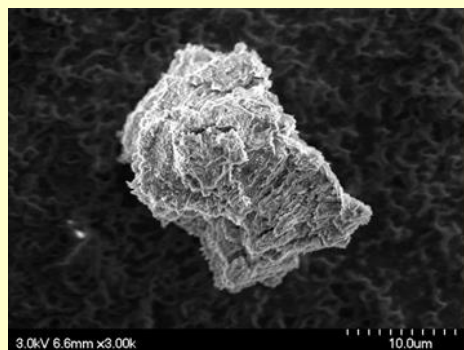
当社が新しく検討している合成方法においては、以下に示すようにSnO,WO₃,Sn金属多孔質の粒子やバルク体の作製が可能である。本方法による多孔質粒子の特性制御の限界や多孔質のポアサイズの分布やBETの制御についてはこれから様々な元素や合金組成において調べる予定である。本方法では量産段階において非常に安価に提供できる。Snの金属多孔質体は一般的な方法において容易に作製できないものであるので一例として示した。Ti,W等の多孔質金属体も作製でき、他の元素も試作していく。



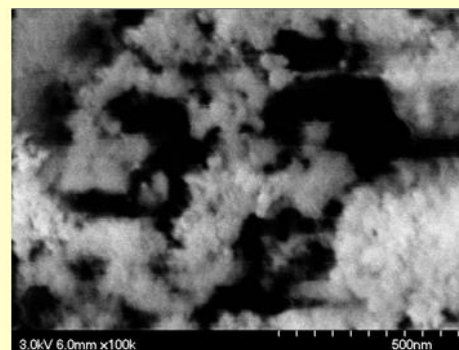
WO₃ porous powders



Ta₂O₅ porous powders



拡大図



Sn nano porous metal powders

当社の新製法で作製した異種金属元素コート粉の紹介

Ag粉の表面にCuをコートした粒子やCoをコートした粉を展示した。当社の製法では母体金属の種類に依存しないで、異種金属をコートすることが出来る。様々な方法があるが、現在、数種類の方法により確認している。金属粒子を構成する元素や金属粒子の表面状態により被覆する金属層の状態が変わるために、場合によって方法の選択を検討する必要がある。この方法により、例えば、当社が開発したCu針状ナノ粒子の表面にAgを被覆した粒子を作製することは可能である。

用途 上記のような多孔質粒子や異種金属コート粒子の応用例としては二次電池材料、触媒、導電性フィラー等に展開が可能です。ユーザーの要求に応じて様々な粒子の作製を検討します。興味がありましたら担当者にお問い合わせ下さい。

株式会社希少金属材料研究所

〒706-0011 岡山県玉野市宇野8丁目30-12 津国興産ビル1,2F

TEL/FAX 0863-33-3388 URL <http://rmml.biz/> E-mail info@rmml.biz